

Bell Friend

鈴鹿大学短期大学部 鈴友会会報 卒業記念号
平成 29 年 3 月 24 日発行



皆様のご壮健・ご活躍を祈念します



鈴友会名誉会長・学長

市野 聖治

鈴鹿大学短期大学部での学業を終えられ、ここに卒業を迎えられるみなさんに、心よりお喜びを申し上げます。

卒業（式）は、主に米国の大学で「commencement」が用いられます。これは、「学位授与」と同時に、新たな「始まり・開始」を意味するとされています。みなさんは、短期大学部で学んだことを踏まえ、さらなる輝かしい未来へ新たな一歩を踏み出すことになるのです。

私たちを取り巻いている周囲の厳しさについては、みなさんも承知していることと思います。私たちは、不確実で複雑な、激動する社会の中にいます。「先が読みにくい時代」であればあるほど、新たなことを学ぶことの意味は、より重くなります。

みなさんは、自律的、主体的に学び続けるという覚悟をもって、この卒業を迎えているのだと、私は確信しています。先人の叡智（えいち）は、困難に直面した時、それを不運や不遇とは嘆かず、「自らを鍛える良い機会」と捉えて、その困難に立ち向かうことの大切さを説いています。これまで学んできたことを礎にそれぞれの道を力強く歩まれることを期待します。

本学も、今後とも地域社会へ新しい価値を提供し続けられる、魅力ある大学を目指し、教育、研究に決意を新たにしているところです。本学には、常に新たな学びがあり、あなた方を成長させてくれる「場」が用意されています。必要な時には、いつでも戻ってきてください。

卒業という未来への希望に満ちた旅立ちに際し、みなさん一人ひとりが幸運に恵まれることを祈ってやみません。



鈴友会会長

鎌田 美千代

(昭和 56 年度卒業)

卒業生の皆様、卒業おめでとうございます。

同窓会より心からお祝い申し上げます。そして鈴友会（同窓会）の会員になられたことをお喜び申し上げます。

二年間の学生生活はいかがでしたか？入学されてからこの二年間で専門的な学習や実習を経験されて、随分成長されたことと思います。

昨年は鈴鹿大学短期大学部が鈴鹿の地に設立されて 50 周年を迎えました。そんな中で、皆様と同じように様々な知識と経験を身につけて社会へと飛び立っていった同窓生は 8000 名以上にのぼります。

同窓会としましては、同窓生たちのその後のつながりや、現在どのように活躍されているかを把握し、短期大学部を軸として再びつながり合えるよう橋渡しができればと思っています。その為にも転居された場合には、同窓会までご連絡下さいようお願い致します。さて皆さんへのはなむけの言葉としまして、10 年ほど前、ある先生に教えていただいた幸せに生きる法則「素直・感謝・大きな心・言いきり・やりきり・思いきり・思いやり」この 7 つの言葉を贈りたいと思います。言うは易く行うは難いですが、未来のある皆さんは、ぶれることなく健全な考えをもって、社会に大きく羽ばたいていてください。

同窓会では、二年に一度総会を開催しており同窓会の会報も発行しています。皆様の何かしら心の支えになれば幸いです。皆様のこれからの益々のご活躍をお祈りしています。





巣立つ皆さんへ・・・贈る言葉

生活コミュニケーション学科 生活コミュニケーション学専攻 (櫻井秀樹)

ご卒業おめでとうございます。短大の2年間はどうか？あつという間に過ぎていったのではないのでしょうか。みなさんは、短大50周年目の卒業生ですね。今年度は短大50周年記念誌作成の担当者になり、多くのOG・OBの方々にコメントをいただきました。あつという間の2年間に様々な思い出や経験が語られています。きっと、みなさんも思い出深い学生生活を送ることができたのではないのでしょうか。卒業後は、後輩や私に社会人として得た経験を伝えに来てください。



生活コミュニケーション学科 食物栄養学専攻 (久保さつき)

ご卒業おめでとうございます。短大という1つのステージを終了し、次のステージに上っていくこととなりますね。このステージは皆さんにとってどのようなものでしたか。充実した楽しい短大生活だったなあと思いこの卒業の日を迎えておられたら、とてもうれしいです。くじけそうな時は、このステージをやり遂げた自信をバネに、更なる高みを目指してください。応援しています。

生活コミュニケーション学科 こども学専攻 (江藤明美)

ご卒業おめでとうございます。短大で学んだ専門知識、友だち付き合いで芽生えた友情、社会で学んだ人とのつながりなど、どれもこれも貴重な体験です。常に自分の行動に責任を持ち、誠実で信頼できる社会人になってください。何よりも健康に気をつけ、そして失敗を恐れずに前向き人生を謳歌してください。それぞれの道でのご活躍をお祈りいたします。



専攻科 こども教育学専攻・健康生活学専攻 (田口鉄久・大野泰子)

ご卒業おめでとうございます。短期大学での学びを基礎にして、さらに2年間専攻科で学びを深め、各自の課題を修了研究として結実させました。互いに助け合い、励ましあって取り組むあたたかな姿がありました。今後それぞれの現場において専門性を発揮すると共に「誠実で信頼される」人としてご活躍ください。

～幹事紹介～

- 平成28年度 卒業生147名は、本日鈴友会に入会します。
- 生活コミュニケーション学専攻・・・魚見遥奈、竹内夏海
- 食物栄養学専攻・・・・・・・・・・守藤明日美、結城千恵
- こども学専攻・・・・・・・・・・酒井好香、野口京香
- こども教育学、健康生活学専攻・・・笠井瑞紀

鈴友会事務局便り

卒業後、鈴友会からご連絡をさせていただくこともありますので、住所・改姓・電話番号など連絡先に変更がありましたら、鈴友会事務局までご連絡をお願いします。皆さん、時々クラス会を開催して、近況を把握してください。クラス会報告、近況報告、随時受け付けております。皆さんで楽しい会報を作りましょう。

鈴友会(同窓会)事務局

〒510-0298 鈴鹿市郡山町663-222 鈴鹿大学短期大学部内 TEL (059) 372-3900 FAX (059) 372-3903